



平成24年10月19日

同時資料提供先: 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

くろせ あが
**一般国道375号 東広島・呉自動車道(黒瀬IC～阿賀IC間)の
開通6ヶ月後の利用状況と『地域の声』について**

今年4月1日に開通しました、東広島・呉自動車道(黒瀬IC～阿賀IC間(延長12.3km))の開通6ヶ月後の利用状況をお知らせします。

また、地域にお住まいの方々や周辺企業などからアンケート調査を実施し、地域の声をまとめましたのでお知らせします。

1. 東広島・呉自動車道の交通量

国道375号開通前の交通量の約4割が転換し、東広島・呉自動車道が交通の約5割を分担。

- ・ 阿賀IC～郷原IC間 **約14,100台/日**(平成24年9月25日(火)調査)
- ・ 郷原IC～黒瀬IC間 **約12,600台/日**(平成24年9月25日(火)調査)

2. 整備効果

(1)物流の効率化

郷原地区工業団地～呉港(広港区)への**輸送時間が短縮**しました。

- ・ 郷原工業団地～呉港 **32分短縮**(51分⇒19分)

(2)救急搬送の円滑化

東広島市～呉医療センターへの**搬送時間の短縮、走行性向上**により搬送患者の負担が軽減されました。

- ・ 東広島市役所～呉医療センター **4分短縮**(42分⇒38分)

(3)公共交通(路線バス)の定時性向上

交通の転換による国道375号の渋滞緩和により、路線バスの**定時性が向上**しました。

- ・ JR阿賀駅前バス停～郷原バス停 **遅れ時間緩和**(13分⇒2分)

3. 『地域の声(住民アンケート調査結果)』(呉市郷原地区と東広島市黒瀬町地区他の住民約400人対象)

- ・ 地域にお住まいの方々の**約9割**が国道375号の**渋滞の解消、所要時間の短縮を実感**。
- ・ 通勤時の国道375号から東広島・呉自動車道への**経路変更、買い物・レジャー等の外出機会が増加**など、**日常生活に変化**。
- ・ 一方で、先小倉交差点や休山トンネル周辺での混雑の声が挙がっています。

※ 今後も引き続き調査を行い、道路整備効果を検証していきます。

●問合せ先 国土交通省中国地方整備局 広島国道事務所

はまさき ひろゆき
副所長 浜崎 宏幸

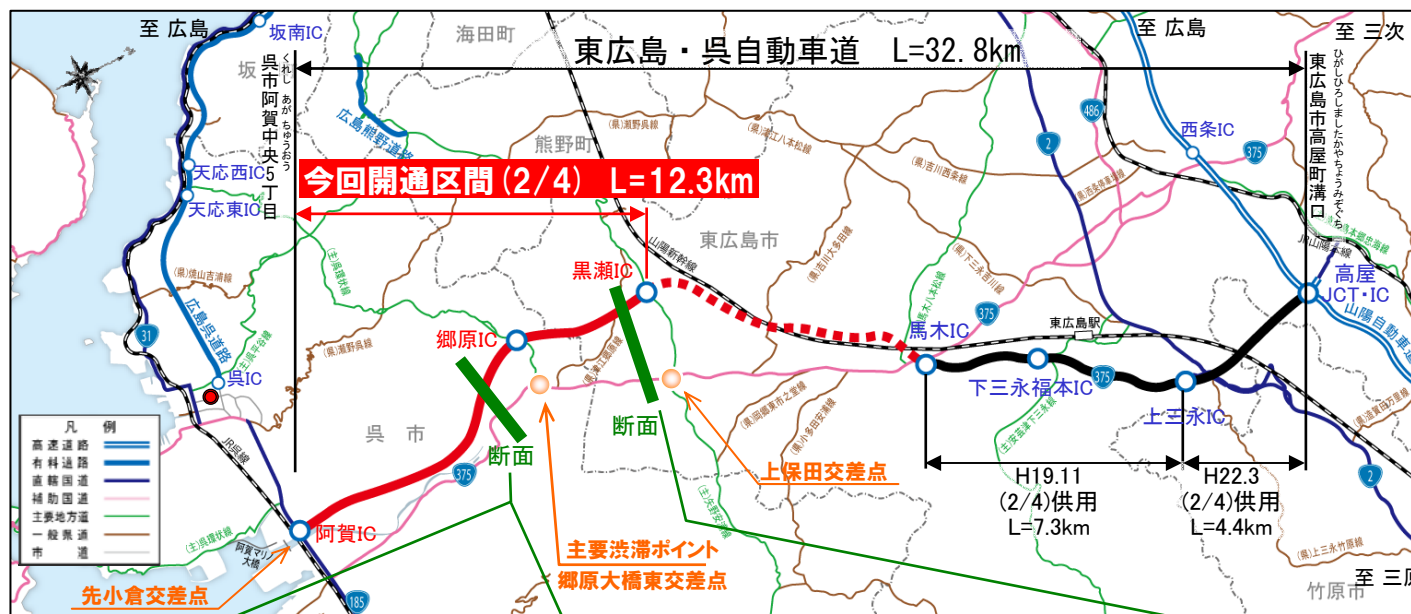
ふじた おさむ
【担当】計画課長 藤田 修

TEL(082)281-4131 FAX(082)286-7897

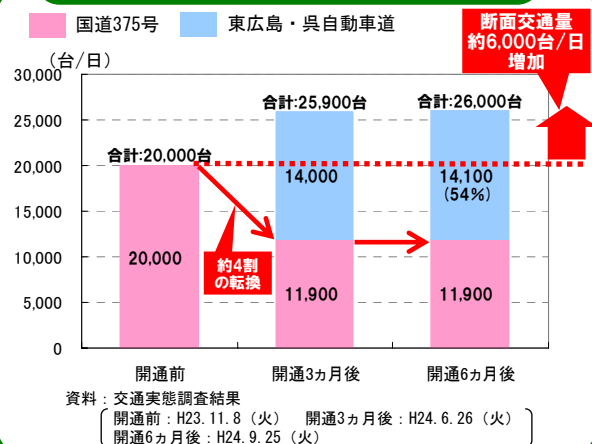
ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/index.html>

■東広島・呉自動車道の開通後の利用交通量について

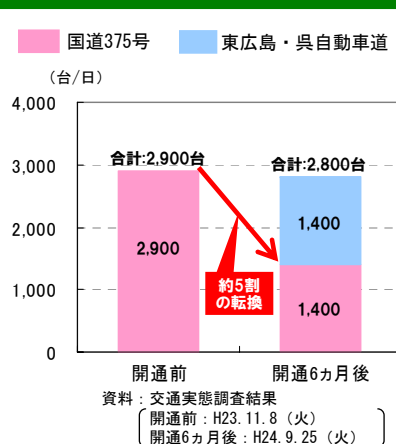
- ・開通6ヵ月後の東広島・呉自動車道(阿賀IC～郷原IC間)の平日の交通量は**約14,100台/日**、郷原IC～黒瀬IC間は**約12,600台/日**で、国道375号の開通前交通量の約4割が転換し、約5割の交通が東広島・呉自動車道を利用しています。
- ・大型車交通量も約5割が転換しています。



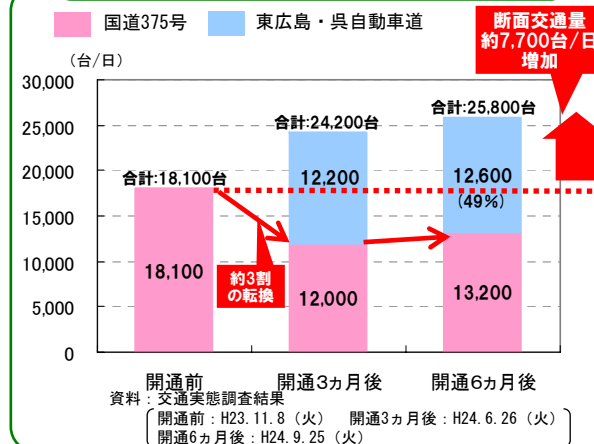
断面交通量の変化(阿賀IC～郷原IC間)



大型車交通量の推移(阿賀IC～郷原IC間)

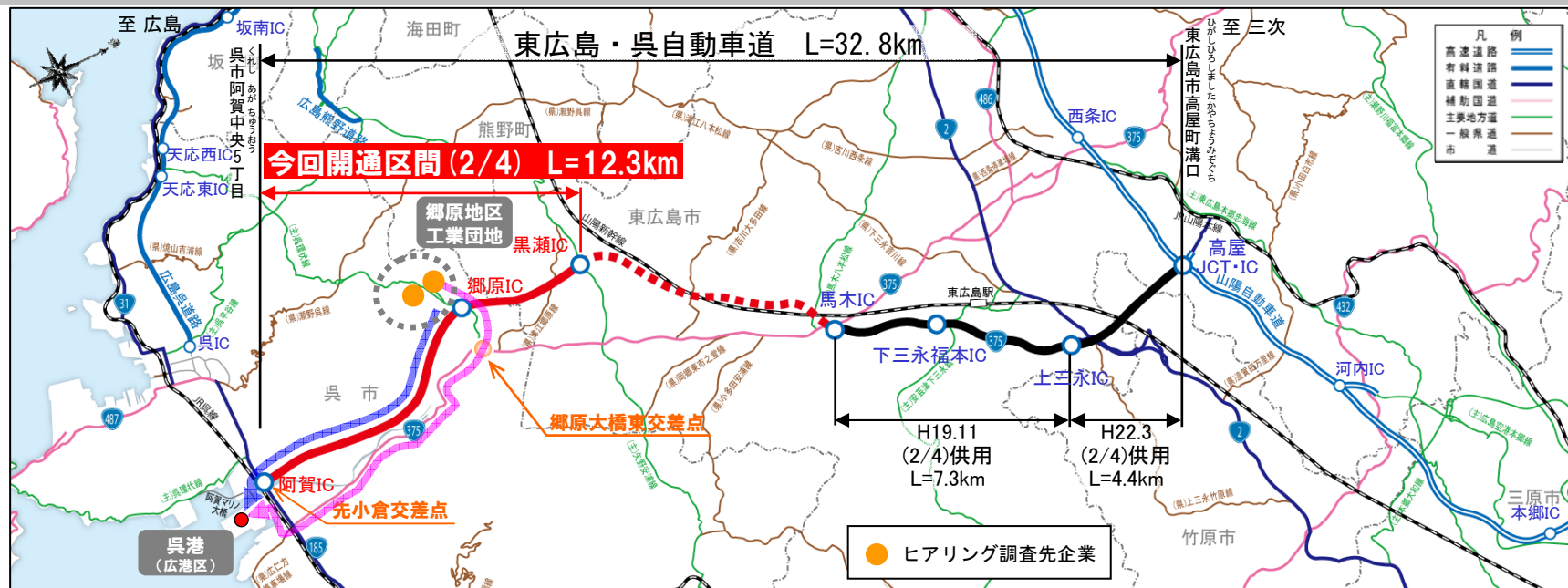


断面交通量の変化(郷原IC～黒瀬IC間)



■東広島・呉自動車道の開通後の物流効率化について

・東広島・呉自動車道(黒瀬IC～阿賀IC間)の利用により、郷原地区の工業団地から呉地区(呉港(広港区))への**輸送時間が短縮**しました。



搬送時間の短縮

【開通前】

国道375号 → 国道185号経由

約51分

【開通後】

東広島・呉自動車道(阿賀IC～黒瀬IC)経由

約32分短縮

約19分

資料：旅行速度調査結果(7時台)

[開通前：H24.2.8(水) 開通後：H24.10.16(火)]

地域の声

・朝・夕の渋滞緩和により、呉・広方面への時間が短縮し、時間も読みやすくなったため、指定された搬入時刻に対して余裕が持てるようになりました。

(呉市郷原地区の流通業の方より)



・取引先から製品搬送の時間指定を受けることがあり、遅れると先方が手待ちになるので、時間どおりに移動できることで、生産活動が効率よくなりました。

(呉市郷原地区の製造業の方より)

■東広島・呉自動車道の開通後の救急搬送の円滑化について

- ・東広島・呉自動車道(黒瀬IC～阿賀IC間)の利用により、東広島市から三次救急医療施設である呉医療センターへの**搬送時間が短縮**しました。
- ・また、搬送時の走行性が向上し、**患者の負担が軽減**しました。

※三次救急医療施設：

初期・二次救急医療機関では対応できない重篤な救急患者に対し、高度な医療を総合的に提供する医療機関



搬送時間の短縮

【開通前】

国道375号 → 国道185号経由

約42分

【開通後】

国道375号 → 東広島・呉自動車道(黒瀬IC～阿賀IC)
→ 国道185号経由

約4分
短縮

約38分

※東広島・呉自動車道は70km/hで設定
※一般国道の速度は各区間の規制速度で設定

地域の声

・現在、呉市内への搬送では、ほぼ全て東広島・呉自動車道を利用しています。病院への収容時間は明らかに短縮しました。

・国道375号には二級峠付近に急カーブがあるのに対し、東広島・呉自動車道は急カーブ、急勾配がなく、振動や傾きが小さいため、患者への負担が軽減されました。

(東広島消防署の方より)

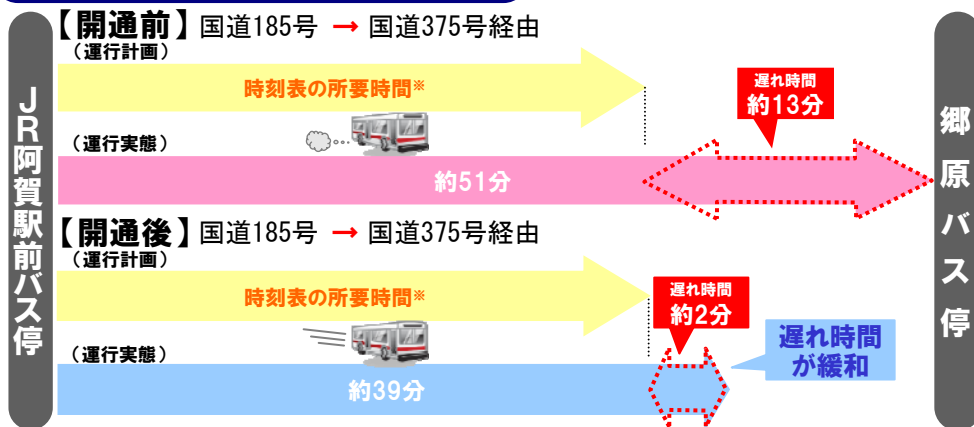


■東広島・呉自動車道の開通後のバスの定時性の向上について

・国道375号から東広島・呉自動車道(黒瀬IC～阿賀IC間)への交通の転換による渋滞の解消により、国道375号を通過するバスの遅れ時間が緩和し定時性が向上しました。



路線バスの到着遅れ時間の解消



資料：ピーク時ダイヤ時間：18時台
遅れ時間、運行実態：バス運行実態調査結果（開通前：H24.2.2（木） 開通後：H24.9.20（木））
※時刻表の所要時間は、ダイヤにより異なる

地域の声

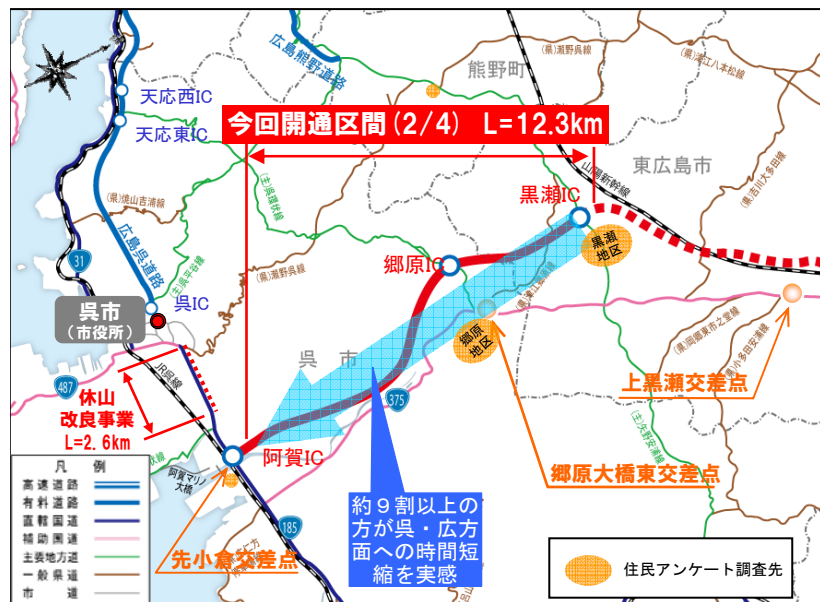
・東広島・呉自動車道開通前は、国道375号の混雑により、ダイヤに対する運行時間の遅延が生じていましたが、開通後は国道375号の混雑が解消し、定時性が向上しました。



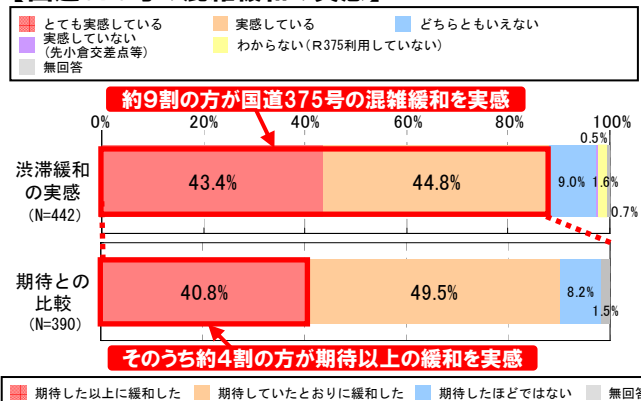
(バス会社の方より)

■住民アンケートの調査結果について

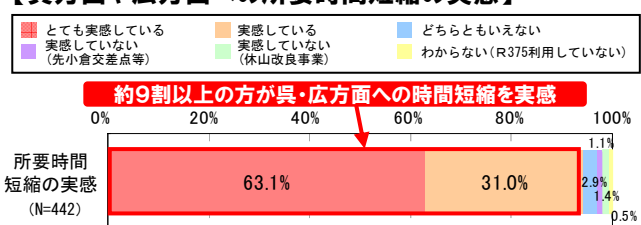
- ・呉市郷原地区と東広島市黒瀬町地区他への住民アンケートでは、**約9割の方が一般国道375号の混雑が緩和したと実感**しています。一方で、先小倉交差点や休山トンネル周辺での混雑の声が挙がっています。
- ・また移動時間の短縮によって、通勤時の移動経路の変更や外出機会の増加などの**住民生活の変化**を確認しました。



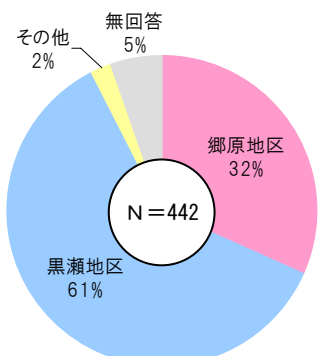
【国道375号の混雑緩和の実感】



【呉方面や広方面への所要時間短縮の実感】

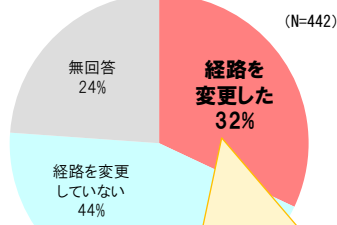


住民アンケート調査結果



※呉市郷原地区と東広島市黒瀬町地区他住民へのアンケート調査結果 (H24.9実施)
回収数442/配布数1056=回収率42%

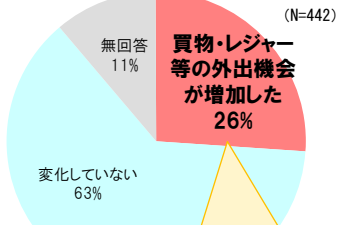
【通勤時の移動経路の変更 (国道375号から東広島・呉自動車道へ)】



変更した理由

- ・東広島・呉自動車道を利用すると、所要時間が短縮したため、出勤時間が遅くても良くなったから
- ・東広島・呉自動車道は信号が無いので、高速で走行できるため、ストレスが少ないから

【呉市街や広方面への買物・レジャー等の外出機会の増加】



増加した理由

- ・東広島・呉自動車道の開通により呉方面に積極的に外出しようと思えるようになったから

地域の声



定期的に呉方面の病院に通っていますが、時間の短縮に驚いています。

(周辺地域住民の60代女性より)

渋滞が無くなったため、車の燃費が2km/L程度良くなりました。



(周辺地域住民の50代男性より)

東広島・呉自動車道の開通により、広島空港へのアクセスがずいぶん良くなったと思います。



(周辺地域住民の70代男性より)

一方で...



東広島・呉自動車道を降りた先小倉交差点で混雑が発生しているため、時間短縮を実感していません。

(周辺地域住民の30代男性より)

呉市内に行くときに休山トンネルで渋滞が起きていて、どちらにせよ時間がかかっています。



(周辺地域住民の30代男性より)